



平面図 1:200

■航空灯火等

凡例	名称	灯数
●	簡易式位置標示灯	1灯
○	進入角指示灯	2灯
→	風向灯付風向指示器	1灯
■	境界灯付着陸区域照明灯	8灯
■	境界灯	4灯
■	境界誘導灯	6灯
T	風向風速計	1台
□	遠隔操作受信機	1台
■	ヘリポート照明制御盤	1台
◎	監視カメラ	1台

\*遠隔操作パネル、風速計デジタル表示器は防災センターや守衛室に設置  
\*離着陸経路が180°では無い場合、境界誘導灯は「3灯+5灯」が必要

『飛行場外離着陸場』 設置基準	
1. 離着陸地帯	長さ ……使用機の全長の1.2倍以上 巾 ……使用機の全巾の1.2倍以上 表面 ……十分に平坦、 …………最大縦断勾配 2% …………最大横断勾配 2.5% 構造 ……使用上の運航に十分耐える強度を有するもの
2. 進入区域 及び進入表面勾配	進入表面勾配 ……着陸方向 1/8 同表面の上に出る高さの物件がないこと。
3. 転移表面	転移表面勾配 ……着陸方向 1/1 ただし各辺から外側にそれぞれ10mまでの範囲内は1/2の勾配を有する表面上に出る高さの物件が無いこと。
4. 照明灯	飛行場灯台 ……当該灯台が光源の中心を含む水平面から上方の全ての方向から見えるように設置すること。 風向灯 ……夜間において少なくとも300m上空から風向指示器の指示する方向が明瞭に視認できるような照明を有するものを設置すること。 着陸区域照明灯 ……離着陸地帯の周辺であって、航空機の航行に障害とならない場所に設置すること。 境界灯 ……離着陸地帯の境界線から1.5m以内で15m以下のほぼ等間隔に8個以上設置すること。 境界誘導灯 ……離着陸経路と離着陸地帯の境界線とが交差する付近から6m以内で経路に直交する直線上に離着陸経路に對し対称に3m以下のほぼ等間隔に3灯以上設置すること。
ヘリポート対応機種	
1. 機種	AW 139
2. 仕様	全幅 13.80m 全長 16.66m 最大重量 6,400Kg (最大6,800Kg)
3. ヘリポート仕様	全幅 13.80m × 1.2倍 = 16.56m → 21.00m 全長 16.66m × 1.2倍 = 19.99m → 21.00m 衝撃荷重 7,000 × 3.25倍 = 22.75t

■施設名称

1,300  
650  
**AERO FACILITY MEDICAL CENTER**

■標高指示

1,300  
550  
**ELEV 000 ft**

■最大荷重表示

1,300  
650  
**MAX 7.0t**

\*最大荷重表示、標高表示、施設名称については協議の上決定する。

塗装工程

1. 下地ケレン清掃
2. 下地洗浄
3. 下塗プライマー
4. 中・上塗仕上 (2回塗布)
5. 白十字部分 中・上塗仕上 (2回塗布)
6. Hマーク 仕上
7. 外周ライン 仕上
8. 文字 仕上

塗装材料

アクリルウレタン系・ノンスリップ塗装

凡例

A色: 赤色 (G07-40X近似色)  
B色: 白色 (GN-95)  
C色: 協議の上決定  
文字: 白色 (GN-95) (日塗I2013年G版)

\*施設名称、配置については病院と協議の上決定する

問い合わせ先 TEL: 03-5402-6810

東京都47920号一級建築士事務所	承認	特記	訂正	縮尺	図面番号
エアロファシリティ株式会社	製図			A3版 1:200	飛行場外離着陸場(病院) キャットウォークタイプ
				完成年月日	図面名称
				17.07.01	平面図